



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピストンリング株式会社

コード番号 6461 URL <http://www.npr.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 越場 裕人

TEL 048-856-5011

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	25,198	△0.4	1,103	19.3	1,224	30.0	1,171	89.5
26年3月期第2四半期	25,311	3.4	924	△38.0	941	△18.9	618	△56.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 622百万円 (△78.6%) 26年3月期第2四半期 2,907百万円 (139.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	14.25	14.22
26年3月期第2四半期	7.52	7.50

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	62,366	26,135	41.1	311.65
26年3月期	62,073	25,111	39.6	299.00

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 25,612百万円 26年3月期 24,573百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭、記念配当 1円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	1.1	2,400	36.4	2,300	32.7	2,200	62.7	26.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリ情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更、会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	83,741,579 株	26年3月期	83,741,579 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,557,652 株	26年3月期	1,555,144 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	82,185,523 株	26年3月期2Q	82,173,914 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動を受けたものの、経済政策や金融政策により景気は緩やかな回復基調で推移しました。また、世界経済は、米国の景気が底堅く推移し、欧州諸国では長引く債務問題等から持ち直しつつありますが、新興国の成長率には鈍化が見られました。

当グループが関連する自動車業界におきましては、国内は、消費税前駆け込み需要の受注残対応が一巡したこと等から生産台数は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。海外では、東南アジアでは減産となったものの、北米や中国等での需要拡大により世界の生産台数は前年同期に比べ増加致しました。

当グループにおいては、一部製品の見直しをすすめたこと等により、売上高は251億98百万円と前年同四半期比0.4%減となりました。

損益面におきましては、前年同期に海外拠点において税金還付請求訴訟に関する費用を計上した影響等により、営業利益は11億3百万円と前年同四半期比19.3%増、経常利益は12億24百万円と前年同四半期比30.0%増、また、四半期純利益は投資有価証券を売却したこと等により、11億71百万円と前年同四半期比89.5%増となりました。

なお、セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

## ① 自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、インドネシアやタイでの市場低迷等の影響により、売上高は217億58百万円（前年同四半期比2.7%減）となり、セグメント利益は10億79百万円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

## ② 船用・その他の製品事業

船用・その他の製品事業は、円高是正により受注状況が回復傾向にあることに加え、事業譲受した新規事業の影響により、売上高は11億41百万円（前年同四半期比50.8%増）となり、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比65.3%減）となりました。

## ③ その他

商品等の販売事業を含むその他における売上高は、22億98百万円（前年同四半期比4.6%増）となり、セグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント利益22百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、2億93百万円増加し、623億66百万円となりました。これは主に、「退職給付に係る資産」の増加5億48百万円、「受取手形及び売掛金」の増加1億44百万円、「たな卸資産」の増加1億25百万円に対し、「現金及び預金」の減少5億1百万円があったこと等によるものであります。

## (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、7億30百万円減少し、362億31百万円となりました。これは主に、「有利子負債」の減少10億円、「退職給付に係る負債」の減少6億5百万円、「設備関係支払手形」の減少1億76百万円に対し、「営業外電子記録債務」の増加3億34百万円、「繰延税金負債」の増加3億21百万円、「支払手形及び買掛金」の増加2億69百万円、「電子記録債務」の増加2億30百万円等によるものであります。

## (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、10億23百万円増加し、261億35百万円となりました。これは主に、「利益剰余金」の増加15億55百万円、「退職給付に係る調整累計額」

の増加2億39百万円に対し、「為替換算調整勘定」の減少8億36百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて4億98百万円減少し、42億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、29億61百万円の収入（前年同四半期比5億83百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が17億8百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、18億8百万円の支出（前年同四半期比25億10百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出20億17百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億71百万円の支出（前年同四半期比12億67百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金が2億16百万円減少したこと、長期借入金2億86百万円の借入と9億94百万円の返済、配当金を4億8百万円支払ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月8日に公表しました平成27年度3月期業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績等を踏まえ、業績予想を修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務年数に近似した年数に基づく方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が686百万円減少し、退職給付に係る資産が467百万円、利益剰余金が795百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,702	4,201
受取手形及び売掛金	8,562	8,706
たな卸資産	8,170	8,295
繰延税金資産	697	695
その他	924	1,019
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	23,025	22,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,481	8,798
機械装置及び運搬具（純額）	12,652	13,380
土地	5,085	5,068
建設仮勘定	2,237	1,202
その他（純額）	910	883
有形固定資産合計	29,368	29,332
無形固定資産合計	995	965
投資その他の資産		
投資有価証券	7,831	7,879
長期貸付金	5	5
退職給付に係る資産	288	837
繰延税金資産	271	204
その他	406	377
貸倒引当金	△119	△119
投資その他の資産合計	8,684	9,183
固定資産合計	39,048	39,481
資産合計	62,073	62,366

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,575	3,845
電子記録債務	3,690	3,921
短期借入金	4,615	4,275
1年内返済予定の長期借入金	4,050	4,009
リース債務	455	450
未払法人税等	558	510
設備関係支払手形	779	603
営業外電子記録債務	1,026	1,360
その他	3,547	3,537
流動負債合計	22,299	22,513
固定負債		
長期借入金	8,411	7,738
リース債務	1,457	1,516
繰延税金負債	735	1,056
退職給付に係る負債	3,897	3,292
その他	160	114
固定負債合計	14,662	13,718
負債合計	36,961	36,231
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	5,875	5,875
利益剰余金	6,193	7,749
自己株式	△342	△343
株主資本合計	21,566	23,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,230	3,307
繰延ヘッジ損益	△24	△21
為替換算調整勘定	204	△631
退職給付に係る調整累計額	△402	△163
その他の包括利益累計額合計	3,007	2,491
新株予約権	21	39
少数株主持分	515	482
純資産合計	25,111	26,135
負債純資産合計	62,073	62,366

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	25,311	25,198
売上原価	19,934	19,693
売上総利益	5,377	5,505
販売費及び一般管理費	4,452	4,401
営業利益	924	1,103
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	83	108
為替差益	82	81
その他	109	163
営業外収益合計	279	356
営業外費用		
支払利息	180	136
その他	81	97
営業外費用合計	262	234
経常利益	941	1,224
特別利益		
投資有価証券売却益	—	335
補助金収入	—	148
特別利益合計	—	483
税金等調整前四半期純利益	941	1,708
法人税、住民税及び事業税	462	656
法人税等調整額	△84	△112
法人税等合計	378	543
少数株主損益調整前四半期純利益	563	1,165
少数株主損失(△)	△54	△6
四半期純利益	618	1,171

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	563	1,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	773	77
繰延ヘッジ損益	10	2
為替換算調整勘定	1,560	△862
退職給付に係る調整額	—	239
その他の包括利益合計	2,343	△543
四半期包括利益	2,907	622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,761	655
少数株主に係る四半期包括利益	146	△33

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	941	1,708
減価償却費	1,967	2,159
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△22	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	149	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	226
受取利息及び受取配当金	△87	△111
支払利息	180	136
為替差損益(△は益)	△82	△81
投資有価証券売却益	—	△335
補助金収入	—	△148
売上債権の増減額(△は増加)	△515	△333
たな卸資産の増減額(△は増加)	595	△317
仕入債務の増減額(△は減少)	△166	643
その他	572	100
小計	3,511	3,648
利息及び配当金の受取額	87	111
利息の支払額	△181	△141
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△371	△656
補助金の受取額	499	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,545	2,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,660	△2,017
無形固定資産の取得による支出	△21	△10
投資有価証券の売却による収入	—	412
事業譲受による支出	—	△246
子会社株式の取得による支出	△1,545	—
その他	△90	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,318	△1,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△411	△216
長期借入れによる収入	400	286
長期借入金の返済による支出	△2,073	△994
配当金の支払額	△406	△408
少数株主への配当金の支払額	△142	△5
その他	△205	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,839	△1,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	291	△80
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,320	△498
現金及び現金同等物の期首残高	7,163	4,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,843	4,201

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車関連 製品事業	船用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,357	757	23,114	2,196	25,311	—	25,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,357	757	23,114	2,196	25,311	—	25,311
セグメント利益	815	86	902	22	924	—	924

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	自動車関連 製品事業	船用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,758	1,141	22,899	2,298	25,198	—	25,198
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,758	1,141	22,899	2,298	25,198	—	25,198
セグメント利益又は 損失(△)	1,079	30	1,109	△6	1,103	—	1,103

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。なお、当該変更による影響は軽微であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。